

大規模災害時廃棄物対策北海道ブロック協議会(第20回)

昨年度エリア分科会でのご意見と
今年度のエリア分科会・WGへの情報提供について

R6エリア分科会での意見を踏まえたR7の対応案

- R6事業では、R6エリア分科会で挙げられた「災害廃棄物処理に係る課題検討」で挙げられた意見を踏まえ、R7で以下のように対応するよう整理された。

R7開催予定のイベント	イベントで共有すべき対策案
エリア分科会	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成として、災害事例、災害時の対応、人材バンク制度、仮置場レイアウト、運営等の情報を提供する。 ・災害廃棄物処理の負担、減免等の事例等の情報を提供する。
仮置場設置訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成として、災害事例や仮置場レイアウト、運営等の情報を提供する。
連携強化WG	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村連携や民間との協定、連携について情報を提供する。 ・発災時の受け入れ施設について受入可能量や受入条件を確認する。
仮置場WG	<ul style="list-style-type: none"> ・仮置場候補地をリストアップ(できれば複数)し、各条件や優先順位を整理する。
計画策定・改定WG	<ul style="list-style-type: none"> ・災害廃棄物処理計画策定が進むよう、事例、北海道版ワークシート、簡易版の周知をはかる。

R6エリア分科会での意見を踏まえたR7の対応案

- 第19回協議会では、前頁の対応方針案について、以下のようなご意見をいただいたため、その回答案を記載する。

- 参加者について、各エリア所属自治体のカバー率はある程度高いと期待されるが、どの程度か。あるいは、民間事業者がどの程度参加されたのか。
→いずれも多くの自治体、民間事業者の方にご参加いただいた(p.4参照)。
- 希望として、対応策が示されている中で、「誰が」ということは示されているが、「いつまでに」という記載がない。対応を進めていくのであれば、「誰が」「いつまでに」ということが記載されているといいのではないかと思った。
→資料01の通り次回のビジョン・ロードマップの中で、対応策の時間スケールについても検討をしたい。

- その他、R7のエリア分科会等で共有すべき事項についてご意見があれば賜りたい。

参考：R6事業の各種イベントへの参加人数

イベント	道	振興局	市町村	民間団体
エリア分科会	道央(1名) 道南(1名) 道北(1名) 道東(1名)	道央 10名(5/全5振興局) 道南 4名(2/全2振興局) 道北 5名(3/全3振興局) 道東 6名(3/全4振興局)	道央 40名(33/全70市町村) 道南 13名(10/全18市町村) 道北 22名(17/全41市町村) 道東 30名(22/全50市町村)	道央 5名(2団体) 道南 3名(2団体) 道北 5名(2団体) 道東 4名(2団体)
エリア分科会 人材育成	道央(1名) 道南(一) 道北(1名) 道東(一)	道央 5名(3/全5振興局) 道南 2名(1/全2振興局) 道北 3名(1/全3振興局) 道東 5名(3/全4振興局)	道央 28名(24/全70市町村) 道南 9名(6/全18市町村) 道北 14名(10/全41市町村) 道東 21名(16/全50市町村)	道央 3名(3団体) 道南 3名(2団体) 道北 4名(1団体) 道東 3名(3団体)
仮置場WG	—	第1回(4名) 第2回(4名)	第1回(13名) 第2回(13名)	第1回(1名) 第2回(1名)
仮置場設置訓練	帯広(1名) 日高(1名)	帯広(3名) 日高(7名)	帯広(32名) 日高(16名、組合 1名)	帯広(5名) 日高(1名)
連携強化WG	—	第1回(6名) 第2回(6名)	第1回(11名、組合 2名) 第2回(11名、組合 2名)	第1回(7名) 第2回(7名)
処理セミナー	—	12名(6振興局)	49名(36市町村)、8名(6組合)	45名(4団体)
計画策定WG	—	—	第1回(11名) 第2回(13名) 第3回(13名) 第4回(13名)	—